

## ■中国：国家エネルギー局、2009年度電力統計速報発表

国家能源局は1月6日、2009年度の中国電力統計速報を発表した。

2009年度の消費電力量は3兆6,430億kWhで、前年比0.47ポイント高の5.96%増加し、第一次産業は前年比7.86%増の947億kWh、第二次産業は同4.15%増の2兆6,993億kWh、第三次産業は同12.11%増の3,921億kWhおよび生活用は同11.87%増の4,571億kWhであった。6,000kW以上の発電所の2009年度平均稼働時間は前年より121時間少ない4,527時間であった。その内、水力は下半期渇水期のため、前年比325時間減の3,264時間、火力は同46時間減の4,839時間、原子力は同89時間増の7,914時間および風力は同185時間減の1,861時間であった。発電用平均石炭消費率は1kWhあたり342gで前年より3g減少した。電力設備の投資額は合計7,558.4億元で、前年比19.93%増加した。その内、電源への投資は前年比8.91%増の3,711.3億元、流通設備投資は同32.89%増の3,847.1億元であった。火力への投資額が前年より11.11%減少したが、原子力と風力はそれぞれ74.91%、43.9%増加した。流通設備の投資も大幅に増え、全体の50.9%占めた。2009年末の全国の発電設備容量は8億7,407万kWで、前年比10.23%増加となった。その内、水力は前年比14.01%増の1億9,679万kW、火力は同8.16%増の6億5,205万kWでとなった。また、2009年に閉鎖した小規模火力は計2,617万kWである。